

令和3年度全国学力・学習状況調査 伊予市調査結果概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和3年5月27日(木)
- (2) 調査実施校及び調査学年・児童生徒数
小学校9校(第6学年 292名) 中学校4校(第3学年 296名)
- (3) 調査の内容
 - ① 教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

3 教科に関する調査結果の概要

＜小学校調査＞

	国 語	算 数
伊予市	62	71
愛媛県	65	72
全 国	64.7	70.2

＜中学校調査＞

	国 語	数 学
伊予市	64	56
愛媛県	65	58
全 国	64.6	57.2

○ 小学校では、国語において、全ての領域で全国・県平均を若干下回っている。算数においては、5領域のうち「図形」「測定」の2領域が全国平均を上回った。評価の観点で見ると、国語においては、「思考・判断・表現」に課題があり、身に付けている「知識・技能」を生かし切れていないという実態が浮き彫りにされた。算数においても、データを活用する問題の正答率が低かった。今後、分かったことやできるようになったことを活用する学習場面を数多く設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図る必要がある。

○ 特に良好な内容

＜国語科＞

- ・ 学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うなどの「言語についての知識及び技能」

＜算数科＞

- ・ 単体の図形の面積を求めたり、図形の構成を捉えて面積を比較したりする「図形」
- ・ 条件に合う時刻を求めたり、図形の構成を捉えて面積を比較したりする「測定」

○ 中学校では、国語・数学ともに全ての領域において全国・県平均正答率を若干下回っている。しかし、落ち込みの激しい領域はなく、各領域のバランスはとれている。評価の観点で見ても、同様で、大きく落ち込んだところはない。今後、ICTを活用して、実態に応じた指導・支援を重ね、基礎的・基本的な内容の定着を図る必要がある。

○ 比較的良好な内容

<国語科>

- ・ 話合いの話題や方向、質問の意図を捉えて、話す内容を考える「話すこと・聞くこと」

<数学科>

- ・ グラフからデータを読み取ったり、データの傾向を的確にとらえて判断したりする資料の活用

【平均無解答率（答えを書かなかった児童生徒の割合）】（低い方がよい）

<小学校調査>

	国語 (%)	算数 (%)
伊予市	2.3	0.7
愛媛県	2.2	1.3
全国	4.3	2.6

<中学校調査>

	国語 (%)	数学 (%)
伊予市	4.6	11.5
愛媛県	3.3	8.4
全国	4.3	11.1

○ 本市の平均無解答率を全国と比べると、小学校は良好な傾向である。中学校においても、ほぼ全国平均と同等の結果である。問題に粘り強く取り組もうとする態度が見られる。

4 質問紙調査結果の概要

<小学校>

- 「平日の読書時間」「予習・復習を含む計画的な家庭学習」「地域行事への参加」などの項目において全国と比べて良好な結果である。なお、読書については、令和元年度、課題となっていた実態からの好転である。
- 「失敗を恐れず挑戦」「定刻に起床・就寝・朝食の摂取」などの項目において、全国と比べて低い傾向がある。

<中学校>

- 「意見の交流に楽しさを感じる」「地域行事への参加」「地域・社会への関心」などの項目において、全国と比べて良好な結果である。
- 「決めたことをやり遂げる」「学力の定着の実感」などの項目において、全国と比べて低い傾向がある。

<自己肯定感について>

自分にはよいところがあると思っている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	79	77	77
中学校	78	78	76

<将来の夢や目標について>

将来の夢や目標をもっている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	82	82	80
中学校	68	71	69

<家庭学習について>

家庭で予習・復習など計画的に学習を進めている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	81	78	74
中学校	63	58	64

<スマートフォン等の使用について>

携帯電話・スマートフォン・PCなどの使用についての約束の有無や約束の遵守の様子

		伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小	約束なし	12	13	12
	約束の遵守	73	72	70
中	約束なし	20	17	18
	約束の遵守	67	72	70

<ゲームの使用について>

平日にゲーム機器(テレビ、PC、スマートフォン等)の使用が2時間以上の児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	44	44	49
中学校	61	51	57

※新型コロナウイルス感染症拡大予防措置としての休校における特設項目

<休校中の学習について>

感染拡大防止措置の休校中、計画的に学習を継続できた児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	63	65	65
中学校	32	40	38

<休校中の生活について>

感染拡大防止措置の休校中、規則正しい生活を送った児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	61	63	63
中学校	51	52	47

5 今後の取組について

この調査結果は、児童生徒の学力の一部であり、全ての学力を調査しているものではありません。各学校から、学校の結果や今後の取組などが示されていることと思えますが、学校と家庭の連携の下、学習状況の改善を図っていくことが大切であると考えます。

また、伊予市では平成25年度から「伊予市立学校の教育力向上推進委員会」を設置し、伊予市児童生徒の学習状況に関する課題や今後の取組について協議しています。ここでは、基礎・基本の定着、小中学校(小学校同士、中学校同士、中学校区の小中学校)

における連携、これまでの実践とICTの最適な組合せを含めた学習指導の充実、学力調査の実施と活用、家庭との連携の強化などが取組の課題としてあげられています。今後も、市と学校と協力して学力向上の推進に努めてまいりたいと思います。

6 備 考

愛媛県教育委員会のホームページにも県や市町の結果の概要が紹介されています。
(<http://ehime-c.esnet.ed.jp/gimu/src/02shidou/01gakuryoku/zenkoku/zenkoku26.html>)